



第17号

花だより

平成27年8月

発行：安佐南区花いっぱい運動推進委員会事務局(安佐南区地域起こし推進課内) ☎ 831-4926 FAX 877-2299

【沼田支部】 報告者：秋山 元子

沼田支部活動紹介&福岡市からの視察

花いっぱい運動沼田支部は21名のメンバーがいます。杉原支部長の声掛けで沼田公民館に集まり、常時10名余りで活動しています。

花苗の植え替え、花柄取り、草抜き、次の季節の種蒔きなど、することは毎回山のようにあり、時間がすぐ経ってしまいます。「足が痛い」、「腰が痛い」と言いながらも、皆さん進んで作業をされている姿を見ると、ボランティア精神が旺盛な花好きの集まりなのだなと思います。

先月、福岡市中央区役所の職員さんが「安佐南区花いっぱい運動」の活動の視察で、沼田公民館にいらっしゃいました。支部のメンバーがいくつか質問を受けたので、その一部をご紹介します。

質問①福岡市は、公共施設などの花のお世話をしてくださるボランティアが少ないのが現状。皆さんはなぜ「花いっぱい運動」に参加し、花のお世話をしようと思ったのか。

答え—コンクリートジャングル(マンション)に住んでおり、緑が少ない。自治会の代表として、花がある住みよい場所にするために、花の育て方を学ぼうと思ったから。

答え—元々花を育てることが好きで、自己流でお世話していたが、沼田公民館の花づくり講座に参加して新しい発見があり、もっと学びたいと思ったから。

答え—講座に参加した後、水やりに誘われ参加した。花のお世話をしていく中で、いろいろな人と話をしてモチベーションが上がった。

答え—種を蒔き、芽が出た時、花が咲いた時の感

動が何事にも代えがたいから。

質問②種から育てるのに大変なことは何か。

答え—水やりが一番大変。水やりで種が動くことがあるので、気を付けて水をまくようにしている。

この後、沼田支部がお世話をしている伴西公園、大原台集会所、ヌマジ交通ミュージアムなどの花壇を見学されました。福岡市中央区も花いっぱいになることを願っています。



【伴西公園】

活動：伴中央上老人クラブ



【大原台集会所】

活動：なでしこ

【ヌマジ交通
ミュージアム】

活動：たんぼぼの会



【瀬戸内ハイツ
第三公園】

活動：瀬戸内ハイツ自治会



【スポーツセンター】

活動：すみれ



登録花壇の夏の花を見てください！

いよいよ本格的な夏が訪れました。「安佐南区花いっぱい運動」に登録している花壇は、現在、マリーゴールド、サルビア、ポーチュラカ、千日紅などの夏の花が咲き誇っています。私たちは、担当している花壇の花柄摘み、水やり、追肥、切り戻し、草取りなど花が長期間きれいに咲き続けるように管理しています。近くにお出かけの際は、是非花壇を見ていただきたいと思います。「花いっぱい運動」の看板が目印です。花を見て、暑さに負けそうな心を癒してください。



区民まつりに花の塔を出展します！

今年11月1日（日）に、安佐南区民文化センターにおいて「第36回安佐南区民まつり」が開催されます。昨年の区民まつりは、8月の豪雨災害の影響で、残念ながら中止になりました。2年ぶりの開催を盛り上げ、まつりにお出でになる区民の皆さんにきれいな花を見ていただくため、私たち安佐南区花いっぱい運動推進委員会で「花の塔」を作ることとなりました。8月上旬に、花の塔に飾るマリーゴールド、サルビア、ペゴニアなど各種花の種蒔きを行います。立派な花の塔を作りたいと思っています。



また、まつり終了時には、花の塔に飾っている花を皆さんに無料配布しますので、楽しみにしてください。

ジニアの育て方をご紹介します！！

昨年、山口県のフラワーランドでジニア（百日草）を見て、その美しさに感動しました。美しいジニアを私たちの花壇にも咲かせたい！ということで、今年は、どの支部でもジニアを植え、とてもきれいに咲いています。ここで、ジニアの育て方をご紹介します。（「趣味の園芸」参考）



○植え場所・置き場所

風通しのよい日なたで育てる。庭植えでは、水はけのよい場所を選ぶ。

○水やり

庭植えの場合は、しっかり根付くまでは表土が乾いたら水やりをし、根付いた後は基本的に水やりは不要。

鉢植えの場合は、表土が乾いたら水やりをする。夏は極端に水切れさせないよう注意が必要。

○肥料

庭植えの場合は、植え付け時に、堆肥などと緩効性化成肥料（N-P-K=11-11-7など）を元肥として施す。生育期間中、元肥が切れる頃に同様の緩効性化成肥料を追肥として施す。

鉢植えの場合は、植え付け時に、緩効性化成肥料を元肥として施す。元肥が切れる頃に、同様の緩効性化成肥料を生育期間中に1回、あるいは液体肥料（N-P-K=4-6-7など）を月2回、追肥として施す。

○剪定

花数が減った時、草丈の3分の1ほどの高さの位置で切り戻す。切り戻し後は、液体肥料を追肥として施す。

佐東公民館の花づくり講座を見学！！

佐東公民館では、6月から11月までの全6回で、松島省三先生の御指導の下、花づくり講座が開かれています。7月に行われた講座を祇園西支部の2名で見学しました。皆様とても熱心に講座を受けていらっしゃいました。受講者の方が、花いっぱい運動に参加して下さることを願っております。

